

このたびは弊社商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。本書には、施工に関するポイントや注意事項をまとめております。商品の特性をご理解いただき安全でより美しい仕上がり施工していただくため、施工前に必ず本書を一読くださいますよう、お願い致します。

安全上のご注意



注意

※この表示の欄は「損害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害、損害の程度」です。

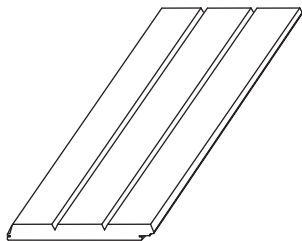
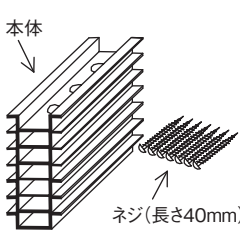
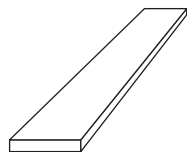
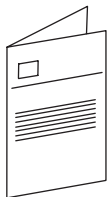
- ・接着剤を使用する際は、換気を十分に行ってください。
- ・接着剤を使用する前に必ず接着剤容器に記載されている、安全上の注意、使用方法、使用上の注意を読み正しくご使用ください。守らない場合、健康を害するおそれがあります。

施工上のご注意

- ①この商品は、一般内装(住宅)用の装飾壁・天井材です。屋外用にはご使用になれません。
また、屋内でも浴室など湯気にさらされたり、たえず水がかかったりするところでは、ご使用になれません。
- ②この商品は、台所などの壁や天井で防火性能が必要なところではご使用になれません。
- ③商品に直接コンセント、スイッチや照明器具、テレビなど配線器具や重量物、熱を発生する器具を取り付けることはできません。
- ④直射日光に当たったり、雨に濡れる場所、湿気の多いところでは保管しないでください。
長時間、水に濡れたまま放置しますと、カビの発生や腐れ、変色、割れ、反りなどの原因となります。
また、立てかけ状態での保管を避け、開梱後は速やかに施行してください。
- ⑤施工下地がぬれていないことをご確認ください。
下地が濡れていると施工後、商品へのカビの発生、変色、突き上げ、スキ、反りなどが発生することがあります。
- ⑥施工前に必ず仮並べを行い、色の濃淡、杢柄など、部分的に片寄らないように、全体の色柄のバランスをご確認ください。
- ⑦施工工具は、各工具の取扱説明書に従って、適切に保護具(保護メガネ、防じんマスクなど)を使用してください。
- ⑧木材は湿度の変化により伸縮する性質があります。
そのため周囲にスキ間を設けて、伸びを吸収できるようにしてください。

1 梱包内容・あらかじめ準備するもの

1 梱包内容

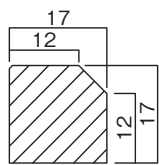
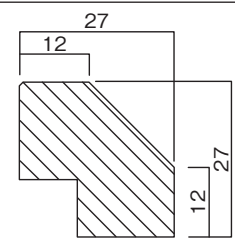
	①パネル本体	②取付パーツ	③スペーサー	④施工説明書
形状・寸法	厚み15×巾176※×長さ2,730mm	パネル1枚に付き7個	厚み1×巾47×長さ300mm	本書
				

※施工後の製品有効巾は173mmです。製品同士が3mm被って施工されます。

2 あらかじめ準備するもの

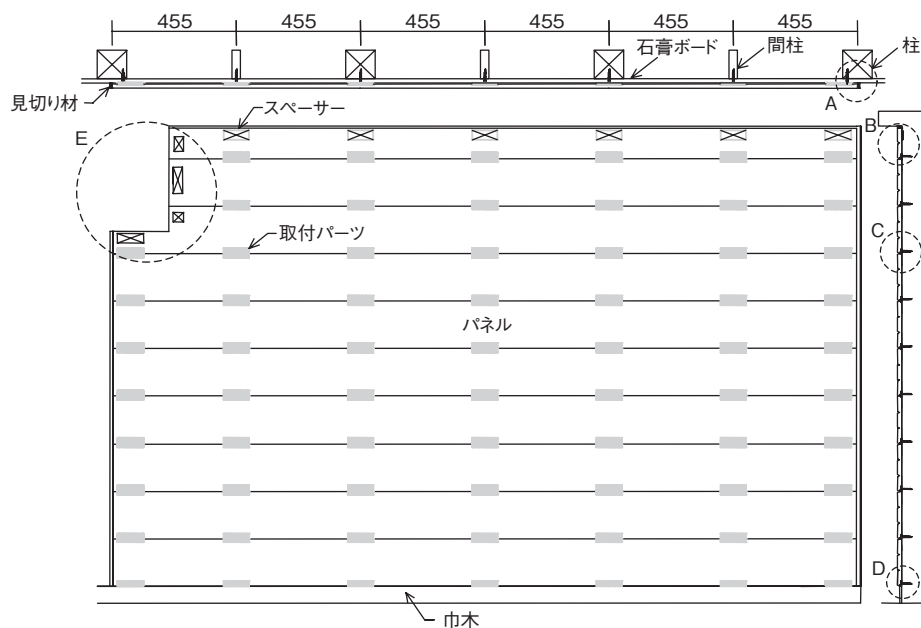
- ・水準器 ・電動ドライバー ・ドライバー (+)
- ・軍手(手袋) ・メジャー ・養生材、養生テープ
- ・木工用接着剤(推奨コニシ株:CH-18)
- ・下地探知工具 ・丸のこ ・のこぎり ・墨つぼ
- ・フィニッシュネイラー (釘頭 2mm, 長さ 40~50mm)
- ・サンドペーパー #180~240 等

《オプション部材 見切材【別売品】》

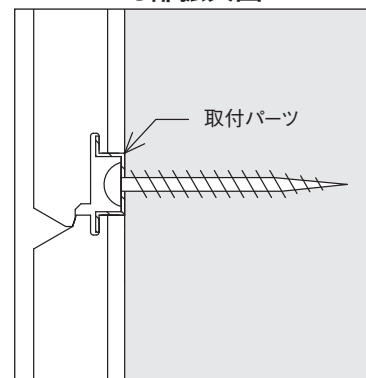
	見切縁・入隅	出隅
断面図		
寸法	厚さ17×巾17×長さ2,760mm	厚さ27×巾27×長さ2,760mm

2 納まり例・部材名称

施工例

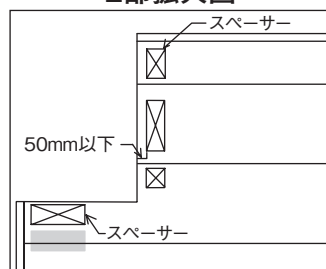


C部拡大図

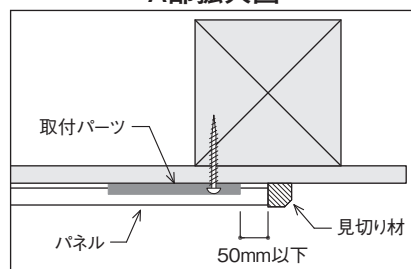


パネルの接合箇所は下段のパネルに上段のパネルが被さります。

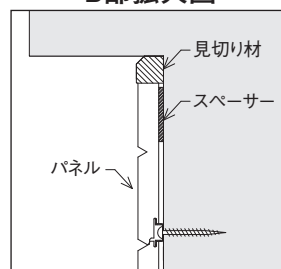
E部拡大図



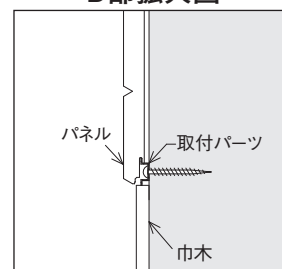
A部拡大図



B部拡大図



D部拡大図



取付パーツはパネルの端部から50mm以下に取り付けてください。
パネルの切り欠き箇所で木質下地がない場合はトリプルグリップ (別売り) で取付パーツを固定するか、上図のように同梱のスペーサーの両面に木工用接着剤を塗布しパネルと下地の間に挟み、パネル表面からフィニッシュネイルで固定してください。

最上段のパネルは、製品に同梱のスペーサーの両面に木工用接着剤を塗布しパネルと下地の間に挟み、パネル表面からフィニッシュネイルで固定してください。

1段目のパネルは取付パーツが隠れる側の実を嵌めてください。

【見切材を使用した場合の納まり】

見切縁	入隅	出隅

※見切材は木工用接着剤を塗布し、フィニッシュネイルで下地に固定してください。

3 下地の種類と条件

- ・柱・間柱などの木質下地（または鋼製スタッド）＋ 捨貼り合板（9mm以上）
- ・柱・間柱などの木質下地（または鋼製スタッド）＋ 石膏ボード（9mm以上）注1）

注1）石膏ボード下地の場合、455mmピッチの木下地（柱・間柱、縦貼りの場合は胴縁）、または鋼製スタッドに取付パーツを固定してください。

柱・間柱または鋼製スタッドがない箇所への取付パーツの固定はトリプルグリップ（別売り）を使用してください。

鋼製スタッドへの取付パーツの固定はネジ固定箇所に先穴加工が必要になる場合があります。

注2）天井施工の場合、455mmピッチの木質下地（野縁）へ取付けパーツを固定してください。

木質下地のない箇所への固定やトリプルグリップでの固定はしないでください。

注3）その他下地条件については営業担当等にお問合せください。

ポイント



- ・必ず施工前に下地の種類や状態をご確認ください。
- ・下地に不陸や段差、スキがないことを確認してください。

4 施工手順

手順1 パネルの割付・長さカット

1 パネルの割付

- ・梱包をほどいて、色調のバランスが取れるように一度仮並べしてください。
- ・取付パーツのピッチは柱・間柱のピッチに合わせて455mm以下になるようにしてください。
- ・施工間口が2730mmを超えるなどパネル短辺方向に継ぐ場合、接続箇所が一致しないように接続箇所をずらして割り付けてください。

2 長さカット

- ・割付に従ってパネルを長さカットしてください。裁断面にササクレやバリ等が発生した場合は、サンドペーパー（＃240）で削って仕上げてください。
- ・ウェーブ、ブロックデザインの長さカットは455mmピッチでのカットを推奨します。

ポイント



- ・ウェーブデザイン、ブロックデザインについてはパネルの長さ継ぎ部分の凹凸断面形状を合わせるため製品の両端同士（カットしていない方）を合わせてください。（カットした面を合わせると断面形状が合いません）
- ・ウェーブデザイン、ブロックデザインは上下のパネルの凹凸形状が455mmピッチ毎に合う形状となっています。パネルの割付の際、上下パネルのズラシピッチが455mmの倍数であればデザインが上下で途切れません。
- ・パネルの接合箇所は下段のパネルに上段のパネルが被ります。カットする際の方向を確認してください。

手順2 1段目のパネルの取付

1 取付パーツの固定

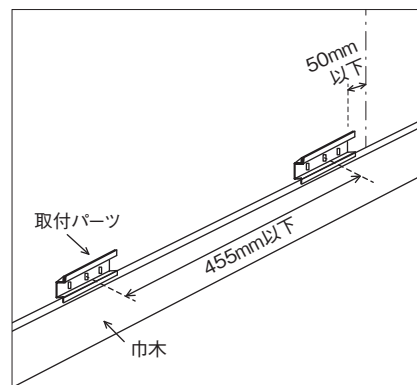
本製品は下基準が基本であり、下から順番に積み上げて施工します。

- ・1段目の取付パーツの取付位置の基準線を墨出ししてください。
（巾木を基準にする場合には巾木の水平が出ていることをご確認ください。）
- ・取付パーツを下地の柱・間柱の位置に合わせて455mm以下の間隔で同梱のネジで固定してください。

ポイント



- ・取付パーツには3箇所ネジ穴がありますが、ネジ打ちは中央部1箇所です。



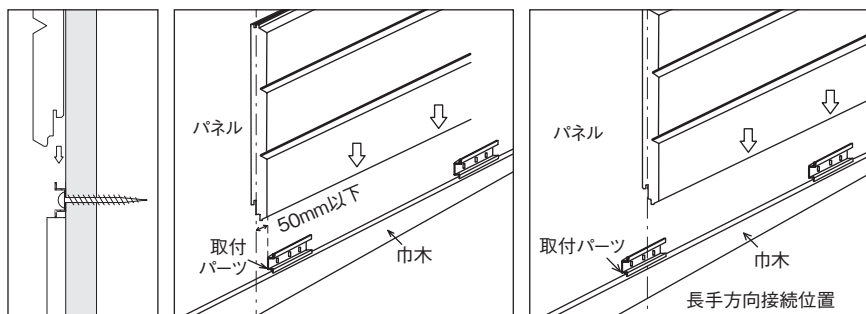
2 パネルの固定

- ・パネルには上下の方向があり、右図の向きでパネルを取付パーツにしっかりと嵌合してください。
- ・施工間口が2730mmを超えるなどパネルの長さ継ぎをする場合、パネルの長手方向の接合部は2mm程度の目地を取り目透かしで納めてください。

ポイント

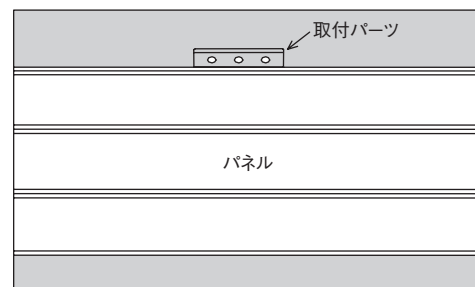


- ・パネルの長さ継ぎは取付パーツの中心で跨ぐように取り付けてください。



手順3 2段目以降のパネルの取付

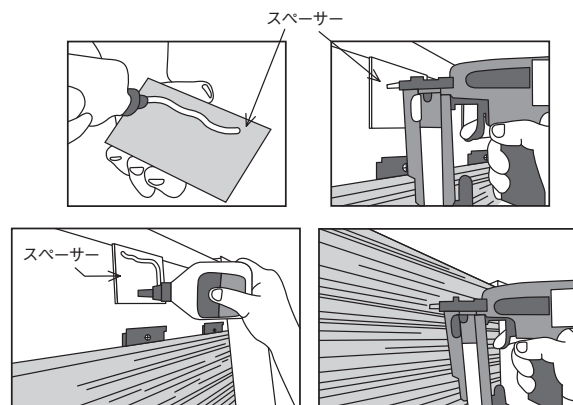
- 1 取付パーツを下地の柱・間柱の位置に合わせて455mm以下の間隔で、1段目のパネル上部に差し込み、同梱のネジで固定してください。
- 2 2段目のパネルを1段目のパネル上部の取付パーツに差し込み、パネルの直線性を確認してください。
- 3 上記の手順をくり返し3段、4段と施工してください。



取付パーツに差し込むことにより、下段のパネルに上段のパネルの一部が被りますので、無理に叩き込まないようにしてください。

手順4 最上段のパネルの取付

- 1 最上段のパネルは残りの高さ寸法から、パネルを取付パーツに差し込む際に可動に必要な寸法(約3mm以上)を差し引いた寸法でカットしてください。
- 2 同梱のスペーサーを必要長さにカットし、下地との接着面に木工用接着剤を塗布し柱・間柱の位置に合わせて455mm以下の間隔でフィニッシュネイルで固定してください。
- 3 スペーサーに木工用接着剤を塗布してから最上段のパネルを取付パーツに差し込み、パネル表面からスペーサー取付位置にフィニッシュネイルで固定してください。



4 施工後も美しく

- ・施工後は直射日光を避け、傷や汚れを防ぐために、養生シートを被せ、養生テープで固定してください。



商品表面に直接、養生テープを貼らないでください。剥がした際に表面を破損させたり、粘着剤が残ったりする可能性があります。

5 お引き渡しまでの間のご注意

- ・換気について
当商品はF☆☆☆☆タイプとなっておりますが、お引き渡しまでの間、できるだけ換気に努めてくださいますようお願いいたします。
- ・水濡れ等について
工事完了後は、雨水にぬらさないよう窓の閉め忘れなどにご注意ください。万一、水ぬれした場合はすぐに拭き取り、十分に乾かしてください。濡れたまま放置しておくと、シミや変色が発生することがあります。

6 お手入れの方法について

- ・ほこり払いなど、日常のお手入れは、乾いた柔らかい布で、から拭きしてください。
- ・水ぬれ、油汚れなどの汚れはすぐに拭き取ってください。
- ・クレヨン、油性ペンなどによる汚れは落ちにくいですが、染み抜きクリーナーなどの使用はご遠慮ください。
- ・樹種特有のヤニ成分が噴き出してくる場合があります。アルコールをふくませた布で拭き取ってください。

WOODTEC

朝日ウッドテック株式会社

本社 大阪市中央区南本町4-5-10 〒541-0054

東京支店 東京都江東区新木場1-4-6 〒136-0082

●商品については下記営業までお問い合わせください。

東京(東京)チーム 03-5569-5512
支店 千葉チーム 03-5569-7743
東部特需ユニット第1 03-5569-5513
東部特需ユニット第2 03-5569-7769
東部集合ユニット 03-5569-5514
東部アメリカユニット 03-5569-7701

大阪(大阪)チーム 06-6245-9501
西部特需ユニット 06-6245-9502
西部集合ユニット 06-6245-9503
西部アメリカユニット 06-6245-9060

北海道(札幌) 011-207-1177
東北(仙台) 022-287-0145
北関東(上尾) 048-775-0471
東京西(府中) 042-361-3634
神奈川 0466-45-8867
名古屋 052-238-2081

北陸(金沢) 076-292-1830
広島 082-246-3361
四国(高松) 087-866-9609
九州(福岡) 092-481-5228